

未来寺子屋

2

かわらばん

9月19日土曜日の午前中、本證寺本堂で、今年度2回目の「まちづくりイノベーションスクール@安城 2020 未来寺子屋」を開催。この日の参加者は、市民や事務局スタッフも含めて16人でした。

この日、はじめにご住職からお話をいただいたあと、参加者全員が輪になって「出身地」「マイブーム」「本證寺のここが好き！」をお題にぐるっと自己紹介をしました。そして、史跡公園の整備予定地及び周辺で活用できそうな資源についての情報を共有したあと、「今年度みんなでできること」について話し合いました。

みんなDEひとつプロジェクトの検討

1

おはなし

本證寺
小山住職



「指方立相」

三重県菰野町にパラミタミュージアムがあります。「パラミタ」は般若心経でも「般若波羅蜜多…」と出てきますが、これはインドの言葉。日本語に訳すと「到彼岸」。今日はお彼岸です。

お彼岸は春と秋の2回あって、太陽が真東から出て真西に沈む。仏教では西の方に浄土、仏様の世界があるとしてきました。仏様の世界はこの宇宙に満ち満ちているのですが、僕たちは目に見える方向を決めてもらわないとそこに手を合わせることができない。そこで、太陽が沈む西に全ての生命の帰するところがあるとみなして、西に浄土があるとしたんです。だからお寺は必ず西に御本尊を配して東にみんなが手を合わせる場所があります。

私達のいる場所を娑婆、川の向こう側を彼岸と言いますが、その川を渡る方法が問題で、いろんな仏教がいろんな方法を考えたんですが、浄土教だけ、西の方から仏様が来て救って下さることになっています。私達は、向う岸に渡った方がいいんじゃないかと思ってしまんですが、お浄土は、実際にある方角ではなく、私達の自己中心的なあり方を明らかにする働きとして今ここに表れているということなんです。昼と夜が同じ時間になった時に、そちらの方向に手を合わせる。そのことによって自分のひとりよがりのあり方が明らかになるということを私達に教えてくれる。暑さ寒さも彼岸までと言って、お寺でも彼岸会の法要をします。その時になると暑さ寒さも和らいで、仏様の教えを聞きやすい好季節になることを昔の人は良く知っておられた。私達はそういうものを、生活の中で大切にしてきたんですね。

2

事務局より情報提供

史跡公園の整備予定地及び周辺の状況や、活用できそうな資源についての情報を共有しました。

空地（本證寺北西）…発掘調査中。ランニング・リレーマラソン大会などの時に準備体操や控えのスペースに使用した。

ハス田…ハスを植えて、今年の7月はきれいに咲いていた。

農地①（本堂西側）…コスモスの種を蒔いたので、秋が深まった頃にコスモス畑になる予定。

山林（本堂裏）…明治時代以降にヒノキを植えたが、手入れをせず雑木林になっている。公園の整備時には多くを間伐することになるが、一度に環境を変えないよう、今年は20本ほど切る予定。切った木は、使えるなら使いたい。

空地と駐車場（山林南）…買収して更地になっている。車を40台くらい停めることができる。

農地②（本堂南側）…900㎡、一反弱くらい。昨年度はシロツメクサを植えた。農地として使うなら問題ない。

古民家…築100年。買収を予定している。残して改修するにはお金がかかるが、いい案があれば残して活用していきたい。

鈴木商店裏の空地…買収して更地になっている。きょうえんいちの時には駐車場として使っている。

山林、墓地、竹林…ヒメボタルが5月中旬ごろに飛ぶ。豊かな自然を活かしていけたら。

万能工業…きょうえんいちの時などには2か所の駐車場（併せて70台）を借りている。

など

全体トーク「みんなDEひとつプロジェクト」

前回に引き続き、今年度にみんなのできることにについて意見交換。まずはペアになってお互いの意見を交わしたあと、全員で共有しました。



間伐材の看板づくりのプロジェクト化

・木は伐ったら乾かしたり製材したりしなければいけないので、看板はすぐにはできない。将来的に看板をつくるならば、そのために何をすべきか検討し、予算立ても必要。また、薪にして売って費用を捻出できるといい。手形を作って参加者に記念品として渡したり、販売してもいい。



Tシャツ・キーホルダー

・Tシャツはスタッフ用に。キーホルダーはハスをデザインしたものに。見本を作ってみて、いずれは売ったらどうか。



草取りをみんなで

・草取りは本当に大変。1人2人の力じゃ無理なので、皆さんの手を借りたい。
・草取りをいつやるのかわかれば参加できる。私にできることを、もう少しやりたい。



春夏秋冬、本證寺を楽しめる仕掛け

・お花畑の中やハスの葉の下で写真が撮れるインスタ映えスポットをつくり、冬の夜に障子にプロジェクションマッピングのような影絵を映したり
…年間を通して人がいなくても観光客に足を運んでもらえるようにし、公園ができる頃には周知されて本證寺に来てもらえるように準備していきたい。



共有～年間計画

・年間スケジュールに、いろんなグループの人が書き加えていって、3年後にはそれが定着して毎年ぐるぐる回るとなると計画的に活動ができてラクになる。みんなが一丸となって回って、みんなでやるシステムを立ち上げられるといい。



本證寺・きょうえんいちの案内

・桜井駅や南桜井駅できょうえんいちの案内表示を。将来的に全体の案内看板もつくりたい。駐車場の案内表示は、本證寺のどこかに置いてもらえるといい。
・ふるさとボランティアガイドのポストに本證寺の案内を入れてもらいたい。
・あんくるバスでも本證寺の紹介、観光案内ができるといい。



ハス

・ハスを育てるのは草取りとかザリガニ採りとか色々あって大変。売った収益金で記念品を渡すなどして、もっと多くの人に来てもらえるような形にしていければ。



・ハスの鉢を作るのは大変な作業。収益もあったが、費用もかかる。今年はたくさん売れたが継続してできるかどうか話し合わなければいけない。工事が始まると、土を採るところがなくなることも心配。

きょうえんいち（門前市）を軌道にのせる

・みんなでやる活動のメインになるものがあって、それが軌道に乗った上でそれに合わせて里山さんの活動をしていくといい。きょうえんいちが成り立たなくなると集客が難しくなってくると思うので、年間を通したスケジュールを実行できる組織、骨組みを作っていくことをみんなでやっていければいい。

きょうえんいち
実行委員会



ひとことアンケートより 皆さんの熱い思いを感じました／年間スケジュールを立てるのはとても良い／みんなに関わってほしいような気がしました。少しずつ動けそう ほか

未来寺子屋③

10/24(土) あさ9:30～12:00
「みんな DE ひとつ P」
& 秋のきょうえんいちに向けて」

安城市教育委員会

文化振興課(歴史博物館内)

☎ 0566-77-4477

✉ bunkazai@city.anjo.lg.jp